

訪問診療と施設の連携
～やってみよう！ID-Link～



高橋病院 訪問診療室

山田佳世

はじめまして 高橋病院訪問診療室です。



函館のシンボル、函館山の麓に古くからある病院です。
平成31年1月に訪問診療室を開設してから
もうすぐ5年となります。
現在は医師5名、看護師5名で
約300人の訪問診療を
おこなっています。

夜間・休日も24時間365日5人の
看護師で電話対応しています。



来年、秋にお引越しします。





ID-Linkって… 難しいんじゃない??

と、思っている皆さん。それは誤解です。
実は、私たちもビギナーです。



当院におけるID-Linkの 活用について

- ・病棟や外来などは、**主に医師**が転院、紹介受診などの際に他院の情報を参照するために活用しています。
- ・そのため私たちも訪問診療を開始するまではID-Linkを参照程度にしか活用したことがなかったのです。

訪問診療室の連携



在宅チーム間で情報共有したい！

そこでID-Linkの活用を始めました。

訪問診療先で訪問看護を利用している患者様は
すでにID-Linkでの連携をとることができていたため
昨年よりID-Linkを活用したことのない施設と

ID-Linkでの連携をスムーズに行うことができるよう
取り組みを始めました。



ID-Link表示項目

文書(退院時要約)

資料登録日:平成 19年4月17日	入院日:平成 19年4月19日	退院日:平成 19年4月24日
紹介元:南郷病院	退室:(済)	転院先:
主病名:不安定狭心症	()	入院病名:狭心症
入院原因:	()	退院理由:
入院科:内科	()	入院期間:
手術・治療および経過:	()	()
1. 不安定狭心症	()	()
2. 狭心症	()	()
3. 狭心症	()	()
4. 狭心症	()	()
5. 狭心症	()	()
主病名の診断:軽微 (既往:なし)	治療経過の概要:	

【病名】1:CAP post PCI 2:FAc 3:Hip

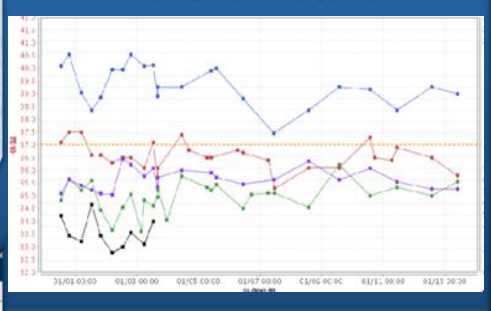
【病歴】FAcにて再発性胸痛中、シンボーム内服、平成19年4月16日朝より左胸から右側胸にかけて断続的に胸痛あり、30分ほどで安静時に軽減。その後も胸痛は断続的にあり、心電図にてST段上向き変化あり、FAcにて再発性胸痛。4月19日緊急手術に入院となった。4月19日の手術は右冠状動脈にFAc施行。

【治療】FAc施行後、胸痛改善。入院期間、退院時検査結果は以下の通り。

【入院検査結果】心電図検査:正常。ECG:90%、ST 70%にてそれぞれCYP119服用。#6-#9にHBM施行。胸痛改善して4月24日退院となった。

【検査】L:20
GPT:40、AST:100、BUN:90%、#7:12%、#7:27%、#7:41%、#7:90%、#8:90%、#9:90%、#10:90%、#11:90%、#12:90%
#13:90%、#14:90%、#15:90%、#16:90%、#17:90%、#18:90%、#19:90%、#20:90%

温度板機能搭載



検査データ(時系列)

検査項目名	結果値	検査項目名	結果値	検査項目名	結果値
血中クレアチニン	0.9 -- 0	血中クレアチニン	0.9 -- 0	血中クレアチニン	7.4 -- 11
血中尿素窒素	7.2 -- 11	血中尿素窒素	6.9 -- 11	血中尿素窒素	3.0 -- 11
アルブミン	3.3 L -- 6	アルブミン	3.3 L -- 6	アルブミン	3.2 -- 11
GPT	15 -- 10	GPT	15 -- 10	GPT	15.0 -- 10
GPT	11 -- 10	GPT	7 -- 10	GPT	0.47 -- 10
LDH	296 -- 10	LDH	296 -- 10	LDH	145 -- 10
TKA	244 -- 10	TKA	145 -- 10	TKA	4.4 -- 10
K	4.5 -- 10	K	4.5 -- 10	CI	104 -- 10
CL	109 -- 10	CL	109 -- 10	Fa(脂)	61 -- 10
尿酸値	11 -- 10	尿酸値	12 -- 10	尿酸値	189 -- 10
アルブミン	0.5 -- 10	アルブミン	0.5 -- 10	アルブミン	85 -- 10

追加表示

- 文書一覧
- 画像一覧
- ファイル一覧
- 予約一覧

ほぼ全ベンダーを網羅

患者 ID: U4959P

年 月 週 日 今日へ移動

期間	05/31(月)	06/07(月)	06/14(月)	06/21(月)	06/28(月)	07/05(月)	07/12(月)	07/19(月)	07/26(月)	08/02(月)	08/09(月)	08/16(月)	08/23(月)	08/30(月)
処方														
注射														
検査														
画像														
レポート														
ノート														

地域連携パス

脳卒中地域連携パス(患者側用)

現在の病状を説明します

- 現在の病状
- 治療方針
- 入院期間
- 退院後の生活

脳卒中地域連携パス(患者側用)の目的は、脳卒中の予防、早期発見、早期治療、早期回復を支援することです。

ノート

【2009-09-14】看護ノート
記録者:看護士 山口あづさ

今朝までの尿量 800ml
Bp 90/60、P 70、KT 35.5℃ 意識がはっきりしています
昨日でも食事は口に出来ます。
昨日は訪問入浴です。身体と顔の保護シートは少しおぼれてきていたのでお風呂の時に一度おぼらせてもらうことになりました。

今回の点滴期間は9/16 9:00への予定です。

【2009-09-18】医師ノート
『本日住診』
記録者:北美奈クリニック 岡田 晋吾

昨日住診しました。不分明にされました。このまま自然の経過で経過します。痛みや熱に对症で対応したたけ、何かありましたら病室に連絡ください。

処方内容

【2007/07/10】
実録済 外科 薬物 処方
臨時 院内 005191 会計済 情報

Rp. 01 2007/07/10:2007/07/11

アモバン錠 10mg 1T

不眠時 10回

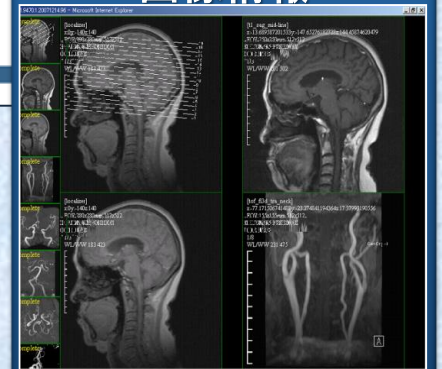
【2007/07/10】
実録済 内科代用科 薬物 処方
入外 院内 005235 会計済 情報

Rp. 01 2007/07/10:2007/07/11

マイクログフィンプラス 31Gx5mm 84本

用法口授

画像情報



ケアマネジャーさん、施設職員の皆さん、
在宅介護をしている皆さん
こんなことで困ったことないですか？

- ・**褥瘡**ができているのに気づいた！でもどうやって
（訪問看護、訪問診療へ）報告しよう・・・
時間がたてば悪くなるし、口頭じゃ説明が難しい・・・
- ・**薬**が増えたけどなんでだろう？
どんな作用なんだろう・・・
- ・**食事、水分**が摂れなくなってきたけど、
次回診察日まで待ってていいのかな・・・
- ・**便秘、血尿**がある・・・などなど



褥瘡の経過



ノート機能の活用



相談したいときは**ノート機能**がおすすすめです！
電話しようか、どうしようか悩むくらいであれば
気軽にメッセージを送って下さい。

特に皮膚の状態に関しては**写真も添付**できる
のでとても便利です。

ID-Linkを活用することで隙間時間に送信、返信
できるので双方で**業務の効率化、時間の有効
活用**に繋がります。

実際のやりとり



[2022-06-28 10:33] 看護師ノート



様様の左臀部』
記載者：担当

いつも大変お世話になっております。

様の左臀部に、500円玉大の表皮剥離あり、一部白く潰瘍のようになっています。

とりあえず、以前処方されていたアクトシン軟膏+ガーゼ+ドレッシングテープ保護しています。

処置内容、軟膏など、ご指示よろしくお願ひいたします。



[2022-06-28 13:52] 看護師ノート



『褥瘡の件』

記載者：高橋病院 山本 智子

ご連絡有り難うございます。

写真拝見しました。

今の所、現在の処置での経過観察が良いのではないかと思います。処置と除圧を継続お願ひします。

悪化するようでしたら再度ご連絡お願ひします。

(山本)

[2023-11-02 12:20] 看護師ノート

記載者 [redacted] 様の画像です。』
担当者 [redacted]

いつもお世話になっております。

[redacted] 様の右下肢と右肘の画像です。

よろしくお願い致します。



[2023-08-24 11:30] 看護師ノート



様 右腸骨の画像です』

記載者: 担当者

いつもお世話になっております。

先ほど、連絡させていただきました、右腸骨の表皮剥離画像を送信いたします。

ご確認、お願い致します。



薬、検査結果について

電話やFAX作成しなくても**処方内容**や**検査データ**を閲覧できます。

気になることがあれば閲覧してみてください。



薬効分類名

経口末梢性μオピオイド受容体拮抗薬

製剤名

ナルデメジントシル酸塩錠

2.禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 消化管閉塞若しくはその疑いのある患者、又は消化管閉塞の既往歴を有し再発のおそれの高い患者〔消化管穿孔を起こすおそれがある。〕

規格単位毎の効能効果及び用法用量

効能効果対用法用量

・4.効能・効果

オピオイド誘発性便秘症

・6.用法・用量

通常、成人にはナルデメジンとして1回0.2mgを1日1回経口投与する。

・用法用量に関連する使用上の注意

オピオイドの投与を中止する場合は本剤の投与も中止すること。

使用上の注意

9.特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者:

9.1.1 消化管壁の脆弱性が認められる又は疑われる疾患を有する患者:

消化管潰瘍、憩室疾患、浸潤性消化管がん、がんの腹膜転移、クローン病などの患者では、消化管穿孔の危険性が高まるおそれがある。〔8.1参照〕

Rp. 11 2023/10/25 -

△バリウム類似物質スプレー0.3% (一般名) (100g) 1本

1日1～2回

その他の状態報告



[2023-09-13 13:08] その他の医療従事者ノート



『家族に状態報告』

記載者：グループホーム

お疲れ様です。最近食事量も少し低下し、ムセ込み痰絡みもあり、エデム、喘鳴、も聞かれることもあり元気もなくなってきていることを家族に報告し、21日の訪問診療時にDrから状態を聞きたいとの事で来所されます。 宜しくお願い致します。

[2023-09-21 15:00] 看護師ノート



『皮膚科往診にて』

記載者：グループホーム

お疲れ様です。状態があまりよくないので本院の内服も最小限にしている事を伝え内服を中止にして頂きました。手袋を外しフリーにしてるのを見て舐める元気もなくなったんだねとのコメント、、、。

[2023-07-12 11:31] その他の医療従事者ノート



『状態報告』

記載者：グループホーム

いつもお世話になっております。最近、食事摂取量が少く1/2に満たず、毎食ラコールを飲用しております。朝食後にグラクティブ錠1/2錠服用しているため低血糖症状に注意し経過観察しています。食事を促しても拒否され手をつねられたり噛まれたりすることもあり2～3口で終了する事も多いです。開口せずスプーンを噛んでしまう事が殆どでルーランを服用によるものか、服用しているからこの程度で収まっているのか食事以外のケアはスムーズにできています。家族に食事量の低下、ケアに対し拒否があり噛む、つねるなどの行為も見られる事を伝え意向を確認したいと思っています。水分は1000ml程度は摂れています。

[Redacted]

[2023-06-28 11:38] その他の医療従事者ノート



『状態報告』

記載者：グループホーム

いつもお世話になっております。歯科受診はルーランの効果で、無事下義歯の型取りは出来ました。夜間も良眠されパッドの交換も拒否なく出来ております。Amは眠気があり声掛けには開眼返答はできます。トイレの誘導も2人で行い拒否なくできておりますが、食事が進まず、介助を要することが多くなっています。拒否なくケア出来るのはいいのですが、今の状態が続くのは心配です。ルーランの調整で安定を図りながら活動意欲が出てくれると良いとは思いますが難しいですよね。どちらを優先するか選択になりますよね、。 6/29日 相談したいと思います。

ID-Linkを情報共有のツールとして活用した結果

- 急を要さない相談・報告に関する電話連絡が減少した。
- ID-Linkを使ったことのない施設2件と、ID-Linkを連携のツールとして使い始めた結果、2か月間で82件ノート機能を活用した相談、報告があった。
- 感想、意見としては「情報共有がスムーズに行えることで日常業務が効率よく進んだ」「時間の有効活用につながった」「状態報告、画像の共有に役立った」等の意見があった

まとめ

ID-Linkを活用することで施設、訪問診療室の双方で
情報の均一・均等化が図られました。

他病院、他事業所の情報を共有できることで業務が
効率化しさらに円滑な連携体制が構築されます。



情報共有が密になることで、
サービスの向上となり、
患者満足度の向上にも繋がります！

ご清聴ありがとうございました

